

1996年(平成8年)7月13日(土)

医療ルネサンス

125



薬物依存症 3

「寂しくてシンナーや覚せい剤に手を出した。でも、見えない所で母がいろいろと気を配ってくれていたことに気づいた。私がわがままだった。遊ぶだけの生活には、もう戻らない。病気の母には、今まで迷惑をかけた分、夕食を作ったりしてあげたい」

札幌市内にある札幌太田病院(二百六十五床)に入院していた女子高生は、抑え切れなくなった感情を切々と作文用紙につづった。入院時「頼んで産んでもらったわけではない」などと言いつつ、張っていた彼女を変え

「して返した」と「迷惑をかけた」という三問を、幼少期から克明に振り返る。現在の誤った思考や行動が生じてしまった原因などを、自ら洞察する。

1週間もって実施

現在、内観は少年院や刑務所での矯正教育、一般社会人の自己啓発、精神科の治療に用いられている。同病院では約二十年前、まずアルコール

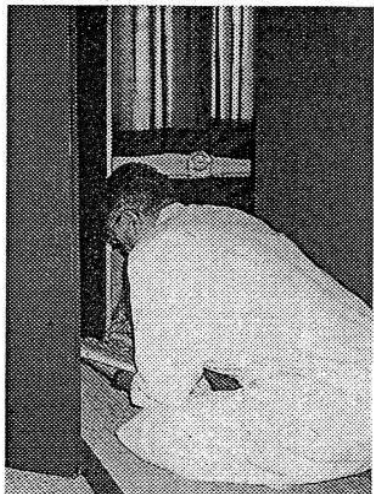
内観で自分振り返り 誤った物の見方修正

法を参考に、宗教色を除いて開発した自己探求法。身の回りの人にしてもらったこと

依存症の治療プログラムを導入。その後、薬物依存症や拒食・過食症、登校拒否、家庭内暴力など様々な症状へ対象を広げてきた。

院内の内観療法室は、定員三人。和室の三隅が約半畳ずつ、びょうぶで仕切られており、患者たちはその狭い区画に一週間もって、朝六時半から夜七時半まで内観に取り組み。指導員が一時間ごとに訪れて、回想した結果を聞き取ってから、次の一時間に思

1時間に1度、びょうぶを開き、回想結果を聞いて記録する大関指導員(札幌太田病院で)



出すべきテーマを指示する。

「時間ごとのテーマは、まず「母」についての三問から始め、患者の幼少期から青年期、成人後へと時期を区切って、順番に思い出す。それが終わると、次に「父」、そして「配偶者や「友人」へと、テーマを移していく。

「薬物依存者は『自分は愛情を受けてこなかった』などと、心に壁を作ったり、恨みを抱いたりしていることが多

信賴関係取り戻す

「内観を評価する保険点数がないので、請求しても削られがち。医薬品なら簡単に点数がつくの……」。太田院長は、薬漬けが優遇される医療制度に、苦しい思いを抱

「薬物依存者は『自分は愛情を受けてこなかった』などと、心に壁を作ったり、恨みを抱いたりしていることが多

「内観を評価する保険点数がないので、請求しても削られがち。医薬品なら簡単に点数がつくの……」。太田院長は、薬漬けが優遇される医療制度に、苦しい思いを抱

「多くの恩や愛に恵まれていたのだ」と安心できる」と、太田耕平院長は説明する。

「内観を評価する保険点数がないので、請求しても削られがち。医薬品なら簡単に点数がつくの……」。太田院長は、薬漬けが優遇される医療制度に、苦しい思いを抱

「多くの恩や愛に恵まれていたのだ」と安心できる」と、太田耕平院長は説明する。

「内観を評価する保険点数がないので、請求しても削られがち。医薬品なら簡単に点数がつくの……」。太田院長は、薬漬けが優遇される医療制度に、苦しい思いを抱

「多くの恩や愛に恵まれていたのだ」と安心できる」と、太田耕平院長は説明する。

「内観を評価する保険点数がないので、請求しても削られがち。医薬品なら簡単に点数がつくの……」。太田院長は、薬漬けが優遇される医療制度に、苦しい思いを抱

「多くの恩や愛に恵まれていたのだ」と安心できる」と、太田耕平院長は説明する。

「内観を評価する保険点数がないので、請求しても削られがち。医薬品なら簡単に点数がつくの……」。太田院長は、薬漬けが優遇される医療制度に、苦しい思いを抱

「多くの恩や愛に恵まれていたのだ」と安心できる」と、太田耕平院長は説明する。

「内観を評価する保険点数がないので、請求しても削られがち。医薬品なら簡単に点数がつくの……」。太田院長は、薬漬けが優遇される医療制度に、苦しい思いを抱